

令和 7 年度 学校自己評価報告書

I 今年度の重点項目への取組

考察等	4つの重点項目「自ら考え行動する生徒」「思いやりと責任感のある生徒」「健康でたくましい生徒」「教育のプロとしての誇りと温かみのある教師」について、教員間で共通理解を図り取り組むことができた。「駒中 Principle」の指導については、「意識した指導ができなかった」という評価もあり課題となった。
改善点	年初に「生徒指導スタンダード」の読み合わせを行い、教員間で「駒中 Principle」について共通認識をもてるようにする。

II 地域とともに子どもを育てる教育

考察等	ホームページ、学年だより等の広報活動や情報提供では、肯定的な評価だった。
改善点	学校だよりや、ホームページなどの媒体を活用し学校の取組を周知する取組を広げる。また学び舎における活動を通じ、小学校の児童、保護者にも広報をする。

III 未来を担う子どもを育てる教育

1 教育課程・教育目標

考察等	教育課程の編成管理、月行事予定、教務事務への取組について、肯定的な評価だった。しかし、教育課程の編成の趣旨等に関して共通理解が図れていないという意見もあった。
改善点	年度初めに教育課程に関する共通理解を図る時間を持ち、協力して教育活動を進める体制を整える。

2 生徒指導

考察等	学校生活の決まりの共通理解等について肯定的な評価だった。
改善点	年度初めに「生徒指導スタンダード」の確認を行い、共通認識のもとに生徒指導を行う。

3 学習指導

考察等	学習指導・指導計画、指導の工夫など肯定的な評価だった。しかし、学校で推進している話し合い活動の工夫や、評価の方法などについて課題意識があった。また、学校図書館については上手く活用できていないという意見もあった。
改善点	話し合い活動や評価について校内研修を行い、評価の方法や工夫について理解を深める。また学校図書館の利用について司書と連携し、活用を促す。

4 道徳・特別活動・総合的な学習の時間

考察等	道徳、特別活動、総合的な学習の時間と、それぞれの項目において肯定的な評価だった。
改善点	各学年で、道徳や特別活動、総合的な学習の時間を計画的に実施することができている。より高い教育効果が得られるように、学校生活に関連付けて計画していく。

5 学校行事

考察等	運動会や若竹祭(合唱コンクールの部、展示の部)について生徒の充実感や達成感につながっているという肯定的な評価だった。しかし運営方法や役割分担について課題がみられた。
改善点	行事の運営について、教員の役割分担や、実施方法の工夫を行っていく。

## 6 健康体力

考察等	生徒の体力の向上や健康教育について肯定的な評価だった。いっぽうで食育については課題があった。
改善点	生徒の体力の向上や健康教育について、食育との関連付けもしながら指導を進めていく。

## 7 キャリア教育・進路指導

考察等	キャリア教育・進路指導と肯定的な評価だった。
改善点	社会人や職業人として必要な資質・能力を育てるキャリア教育や進路指導において、キャリア・パスポートを活用することでより充実した指導を図っていく。

## 8 特別支援教育・教育相談

考察等	特別支援教育・教育相談について充実して取組ができていたという肯定的な評価だった。
改善点	年度当初に「インクルーシブ教育スタンダード」を読み合わせ、教職員の共通認識を図る。また、教育相談主任、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラーとの連携を密にし、より充実した体制を目指す。

## 9 NIE・ESD

考察等	NIE(新聞教育)、ESD(持続可能な開発のための教育)などについて肯定的な評価だった。
改善点	ユネスコスクールの取組などを通し、生徒の探求的な学習活動につながるようにNIE、ESDを計画的に実施する。

## 10 部活動

考察等	平日の活動時間を1時間半に短縮するなど、部活動の改革を行い、それについて肯定的な評価だった。ただし学校に配置された教員の数に対して、開設されている部活動の数が多いという指摘があった。
改善点	外部指導員の活用や、複数顧問体制を進める。また、部員数の減少や、部活の指導者の不足などが生じた場合には部活動の精選を行う。

## IV 信頼と誇りのもてる学校づくり

### 1 学校運営・学校経営・学校評価

考察等	会議等におけるICT活用が進み、肯定的な評価だった。
改善点	組織的かつ計画的な学校運営に努める。

### 2 教職員・研修

考察等	働き方改革の一環で、定時退勤日の導入、部活動の活動時間短縮などを行った。しかし、業務の精選が進んでいないために残業時間が多いなど課題が見られた。研修においては肯定的な評価だった。
改善点	業務の効率化や、無駄を減らすために校務改善委員会が業務の精選を検討する。また、研修においては社会の動向などを踏まえ、教職員の資質向上を図れる研修を実施する。

### 3 保健管理・安全管理

考察等	保健管理・安全管理について肯定的な評価だった。
改善点	年度当初に「学校安全対策マニュアル」などを用いて、教職員の共通認識を図る。

## V 教育環境の整備

考察等	施設設備、予算の活用について肯定的な評価だった。
改善点	施設設備の整備の管理、無駄のない予算の活用など、教職員で連携して行う。